

2016年

春号

住む~ずらいふ

住まいにまつわることから、健康、生活、趣味のことまで。
お客様と一緒に作るエコティ紙ができました。



緊急特集

味を追う男の旅2016

ワンポイントアドバイス / カモーンくんの愉快な友だち紹介
投稿・小さな展示会 / NO HOBBY, NO WORKS.
味を追う男の旅 / お客様より。/ 住む~ずカーが行く！

今回の表紙は、盛岡市鉢屋町のフララフさん。奇跡的に雨が止んだ瞬間、音楽男子（晴れ男！？）の北田英範さんと住む~ずカーでパチリ☆



不調が出る前のちょっとしたお手入れや点検で、長く快適・安全にお使い頂けますよ。点検内容や料金などはお気軽に住む～ずまでお問い合わせ下さい！

日々増しに暖かくなっています。
そろそろ、お家も春支度。
少しの気配りが節約につながります。



遠藤 光司

1 Point アドバイス 春のお手入れ編



1 給水や給湯配管用の凍結防止ヒーターの抜き忘れにご注意ください

コンセントに差したままですと、常に電気が流れていますので電気代がかかってしまいます。また寿命も短くなります。



2 暖房ボイラーやストーブなど 暖房器のメンテナンス

灯油焚きの暖房器では燃焼時にススが発生します。そのススの付着が多くなると着火できない、暖まらないなど正常な能力を発揮できなくなります。暖かくなったらシーズンオフ中のメンテナンスをおすすめします。



3 ルームエアコンのクリーニング

ルームエアコンは内部の熱交換部分にカビが発生していたり、ホコリ詰まりにより正常な能力が発生できなくなっていることがあります。お掃除機能があるものも、定期的にクリーニングすることで嫌な臭いも発生しませんし、無駄な運転を防いでランニングコストも下げられます。



住まいのホームドクター。
住む～ず ☎ 0120-394-640

カモ～ンくんの ゆか～いな友だち紹介



ウオーレンくん（2歳♂）



瑠依ちゃん（9歳♀）

松尾隆平さん（盛岡市）のワンちゃん。通称「レン」君。マルチーズとパピヨンのミックス。松尾様の肩にちょこんと乗った様子はまさに一心同体！仲の良さがうかがえる一枚です。

住む～ずの伊山寛太（盛岡市）のミニチュアダックス。クリスマス生まれの女の子。ごはんをたくさん食べる元気な子です。



投稿・小さな展示会 A Small Exhibition

山本正人さん（矢巾町）より
お子さんの利佳さん（9歳）
と幸太郎くん（7歳）の作品



「大人の塗り絵」ブームでお母様が買った本にお子さん二人が夢中になって水彩したもの。大人には無い色彩感覚にハッ칃しますね。

自由に
大胆に！

色を楽しむ塗装ワークショップはじめます！



NO HOBBY,
NO WORKS.

#3

ワカサギ
釣り
サービス部
坂本 綱毅

↑「名人の釣果。うらやましい限りです」→

↑「チームわかさぎ。寒さなんてへっちゃら……！」

今回は、この時期限定の私の趣味「ワカサギ釣り」を紹介させていただきます。いつもであれば、1月中旬に解禁する岩洞湖なのですが、今年は史上最も遅い解禁となってしまい、本当に待ちに待ったワカサギ釣り（氷上）でした。

氷上釣りというとすごく寒いイメージを持たれる方もいらっしゃるかと思いますが、今は道具も充実していて、テントやストーブがあればそんなに寒さは感じません（テント内は要換気です）。あとは釣り道具があれば快適にワカサギ釣りを楽しむことが出来ます。

ただ、今年の私はワカサギに嫌われてしまったのか釣果があまり良くありませんでしたが、名人は200匹以上釣っているようで羨ましい限りです。釣れればもちろん楽しいですが、釣れなくても場所を変えてみたり仕掛けを変えてみたりと工夫してやるものまた楽しいです。来年は解禁が早ければいいな～と願っています！

この塗料は33色の基調色を混ぜて、塗り重ねてどんな表現も可能な、家のどんな場所でも楽しめる優れものです。また気分を変えたい時はいつでも自分の思つた色に塗り替えられま

経営管理部
照井りえ

い！

シヨップと商品販売を開始します。この塗料は33色の基調色を混ぜて、塗り重ねてどんな表現も可能な、家のどんな場所でも楽しめる優れものです。また気分を変えたい時はいつでも自分の思つた色に塗り替えられま

是非お気軽に参加してみて下さい！





和菓子屋風のショーケースには焙煎前の生豆。豆と焙煎の組み合わせは自由。自分好みのコーヒー豆を丁寧に仕上げてくれます。

古き良き町家の修復・保存が進む鉈屋町の裏通りにコーヒー豆の専門店があります。「フ、ララフ」。そっと口づさみたくなるような愛嬌ある店名は、息子さんが描いた漫画が由来。そこには、ふっと肩の力が抜けるコーヒーとの出会いがあります。木製の重厚なショーケースを覗くと、しっとり照らされる20種の生豆。お客様は生豆と焙煎の段階を選び、自分好みのコーヒー豆を注文します。そして、焙煎を待っている間、1杯のドリップコーヒーが店主からサービスされます。

ソファーに深く腰掛け、小説の続きを読みながら、焙煎を待つ時間。店主の鮫ノ口厚志さんは、まさにその間に魅せられた人物です。「21歳の時かな。学生時代、焙煎をのんびり待ちながら、コーヒーが飲めるお店があって。その待っている時間が好きでした。いつかそんな店をやってみたいなと思っていたんです」。サラリーマン生活を経て、2011年10月にその夢を叶えました。

豆を挽く時間が好きな人、気分転換でコーヒーを淹れる人、香りを大切にする人……。一人一人のコーヒーの時間は実際に様々です。「うちはカフェではないので、ここの一一杯じゃない。家に帰って、淹れる一杯がとても重要なんです」と鮫ノ口さん。だからこそ、自身の好みを押し付けたり、サービスの一杯に特別な水や珍しい道具は使いません。「一番の淹れ方を教えて下さい」と聞いても、きっと思うような答えは返ってきません。それは店主自らも痛感していること。ほんとうの一杯は、もっと自由で、一人一人の感性に委ねられています。



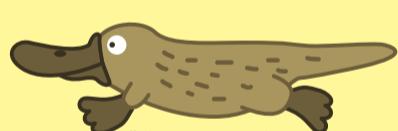
その人の一杯
に価値を置いた焙煎にこだわる鮫ノ口厚志さん。

生豆と焙煎 fulalafu

盛岡市鉈屋町 15-8
10:00 ~ 19:00
定休日 水曜日

☎ 019-681-7917

いつもありがとうございます。
編集室へのお便り、ご投稿、
ご意見はこちらへどうぞ。



住まいのホームドクター
住む~ず

住む~ずらいふ編集室

℡ 028-3621 岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢8-5-1
㈹ 0120-394-640

✉ info@sumuzu.jp

信幸プロテック株式会社



小さな展示会
ゆか~いな友だち紹介
投稿募集中！

編集室では、写真・イラストや、かわいいペットの紹介、みなさまの投稿をお待ちしています。また、味を追う男たちに行って欲しいお店もぜひ教えてください！

いつもいろいろな味や香りに出会えるのは本当に幸せなことです。次回もテレビや雑誌ではなかなか会えない情報をたくさん集めてお届けしたいと思います。

責任編集
村松直子

鮫ノ口さんの想いとコーヒーの香りに包まれた素敵なお店でした。こうして編集しながらいろいろな味や香りに出会えるのは本当に幸せなことです。次回もテレビや雑誌ではどうか。どうか。

私は、実はラーメンが好きじゃないです。トクホのCMみたのですが、脂肪と糖と塩分をまとめて胃に放り込んでいる気がして：。ところが、今回ベスト・オブ・俺ラーメン2016の写真撮影に同行し、ラーメン番長・小笠原のインタビューに同席し、ラーメン写真を撮り忘れた社員の代わりに覆面?取材に行きました。うして、いる間にやたらと

編集後記



給湯ボイラー
エコキュート
風呂釜
暖房換気扇

水が出ない
止まらない
漏れる
混合栓(蛇口)交換
排水
匂い・換気

水が出ない
止まらない
漏れる
便座交換
詰まり
床張替

エアコン
ストーブ
温水ルームヒーター
床暖房
蓄熱暖房機
薪ストーブ

照明
電気配線
内装
窓
床下
断熱・耐熱

屋根・外壁
玄関・車庫
太陽光発電
雨樋・鍵
アンテナ
庭木

風呂 キッチン

トイレ

**おうちの
空調**

**室内
リフォーム**

**室外
リフォーム**

コレらの住まいのことでお困りなら、

住む~ず

にお任せください！

わかりやすい
料金体系

工料

出張費

部品交換



大正琴の練習部屋を和室からフローリングにリフォーム。居間との段差も取り除きました。

宮澤賢治の詩作の舞台になった雲石町七ツ森。小さな7つの森に抱かれた一画に石井家はあります。石井さんは国内の食糧不足解消のためにつくられたモデル農村、秋田県大潟村の出身。最先端の農業技術を習得した後、新天地を求めて25年ほど前に雪石町に移住してきました。

手入れが行き届いたラベ

ンダー色のマイホームです

が、今から3年ほど前に暖房が故障。息子さんの紹介

で住む~ずが暖房を新しく設置し、昨年はリフォーム

を担当しました。

L型キッチンを動線が近いコンパクトなI型キッチンに入れ替え、和室は車椅子でも大丈夫のように板張

りました。住む~ずさんは

社長さんと住宅担当の遠藤百合子さんは「過去の工事でハラハラした経験があ

りました。住む~ずさんは

りに。ついでに冷蔵庫をリサイクルして、捨てられず

ました。昔の人が言うように家具も処分しました。

ほど、一生に3回も家は建

成しては終わりじやない

んだなど。特に高齢者にな

ると、思いがけないところ

でつまづくので散らからな

い部屋が一番ですね」と話

します。

そんな居心地のよい空間

で蓄えたエネルギーを趣味

に注ぐが石井夫妻のスタイル。百合子さんは、福祉施

設で大正琴の演奏ボランティアを続けて7年目。昭

福祉車両の運転手として、一朗さんは、農業分野の住

むくず的 existence です。お二人

が心地のよい忙しさに包ま

っています。

いつもありがとうございます。

お客様まだより。

第3回 石井昭一朗さん
百合子さん

大正琴の演奏ボランティア（昨年の活動回数はなんと75回！）を続ける百合子さんと地元農家に頼りにされている昭一朗さん。



文と写真：もりおかのコト ブカリ